

令和8年1月も下旬に入りました。昔から1月に行く、2月は逃げる、3月は去ると言われるように、時間が経つのは早いものです。

私は、3学期最初のHRで、次のことを話しました。「いよいよ4月から高校生活は後半に入る。この1年は、卒業後の自分の将来について深く考える大切な時間になる。遅くまで起きてゲームなどにはまり、昼頃まで寝て、何もせずに、親の支えで毎日を送っている人は、これからの人生を深く考えなければ生きていけないかもしれない。それは、人も生きもの。自然に考えれば、親が先に亡くなる。いつまでも親を頼りにして生きることはできない。私は、働いたことがない人、一、二度アルバイトしたけどすぐに辞めた人には、ぜひ、何回もチャレンジして持続的に就労してほしいと思う。その機会を通して、自分をみつめ、社会に適応する力を養ってほしい。社会は決して甘くはない。しかし、一生懸命に努力すれば、自分に合った就労場所がきっと見つかるはずだ。前向きに貪欲に挑戦し続ける1年にしてほしい。諸君の輝く成長を楽しみにしたい。」

### 【2学期終業式 満行校長先生のお話から】

「人との関わりで言葉は非常に大切です。よくまちがったり、悪い意味に理解したりしがちな言葉をいくつか挙げてみましょう。」

#### ① 「情けは人の為ならず」

正しい意味は、人に情けをかければ巡り巡って自分に返ってくる。これを、人に情けをかければその人のためにならない、と誤って捉える。



#### ② 「いい加減」

良い意味では、塩気がいい加減ですね。お湯の加減がちょうどいいですね、悪い意味では、掃除がいい加減だ、〇〇さんはいい加減な人だ、などと使う。

#### ③ 「クソ」

最上級の否定として、〇〇はクソだ、と使うが、とても面白いことをクソ面白い、とも言う。

言葉に励まされたり、救われたりすることもあります。傷つけたり、最悪命を奪ったりすることもあります。言葉には魂(言霊)が宿ると言われます。周囲には、「勇気づける」「前向きな気持ちにさせる」言葉を使うよう心がけましょう。

### 【3学期始業式 朝長教頭先生のお話から】

「みなさんは、テトリスというゲームをしていますか？4つのブロックを組み合わせていくゲームです。みなさんに例えると、1年で学ぶこと、2年、3年、4年で学ぶことがあります。学んだそれらを組み合わせ、一つの形にすることができます。それが、今後の人生を切り開く力になるのです。今年1年がどうなるかみなさんの活躍を楽しみに見えています。」



始業式に引き続き、3学期の学級役員任命式、新生徒会役員任命式も行われました。

中島みゆきさんの曲「糸」を思い出しました。生徒会役員が縦の糸、学級役員が横の糸、とすれば、それらが織りなす布は、大高定時をきっと楽しく輝く学校にする力になることでしょう。